

# 流山を、日本一永住したい街にします。

## ① もっと、1円まで活かす市政。

- ① 日本一の行政効率をさらに改善し、市民サービスの充実と安全な街づくりを進めます。
- ② 同規模人口(10~20万人)の自治体中、最小の人員費で充実した市民サービスを実現します。

## ② もっと、市民に役立つ行政。

- ③ 広報、ホームページの改善・充実や、市民の声を集めるしくみづくりを進めます。
- ④ 市民の足の確保と地球温暖化対策として、ぐりんバスや路線バスをさらに充実させバス交通をもっと便利にします。
- ⑤ 開発で失われた緑の回復、街中(まちなか)の緑の創造、グリーンチェーン認定制度の拡充を進めます。
- ⑥ シニアの安心のため、特養ホーム、高齢者福祉施設、高齢者専用賃貸住宅を増設します。

## ③ もっと、可能性を引き出す街づくり。

- ⑦ 市立小中学校では、チームティーチングや成果のあがる英語教育に力を入れ、よくわかる授業、楽しい学校づくりを進めます。
- ⑧ 流山本町の街並みや利根運河の自然を活かしたツーリズムを進めます。
- ⑨ 良質な住宅環境にふさわしい企業誘致で、雇用の確保と財政基盤を強化します。
- ⑩ 自立・自律の自治体確立のため、条例を整備し、市政が前進し続ける基盤を整えます。

流山市が力強く発展し、長寿社会をささえるために。

# 流山成長戦略

## ① 若い人口を増やします。

つい数年前までは60~64歳が最多だった流山市。このままだと近い将来、医療・介護の費用が急増し、市民サービスの水準維持が難しくなります。そこで流山市は子育て世代に選ばれる街づくりを進め、街の活力と税収の安定化を目指します。

## ② 企業誘致に力をいれます。

バイオ、IT、環境分野などの企業誘致により、税収の向上と雇用の確保、財政基盤の強化を進めます。

## ③ 交流人口を増やします。

流山本町の歴史や利根運河の自然を活かしたツーリズムも推進。老朽化した市民体育館を、建替えを契機に多目的イベントにも利用できるようアーリーナ化することにより、交流人口を拡大します。交流人口を5年で5倍(現在20万人を100万人)を目指します。

## ④ 地域でお金が回るしくみを作ります。

学校給食に通年で流山のお米を使う「この街ごはんプロジェクト」がスタート。さらなる地産地消の拡大をはかります。また太陽光パネル設置や耐震診断・木造住宅耐震改修、高齢者住宅改造などの補助金対象を地元事業者活用に限定するなど、市の補助事業と市民のお金が地域の中で循環するしくみを進めます。

# どんどんやります。いざきのアクション

- ① 学校の耐震化に続き、他の公共施設の耐震化を前倒しで進めます。  
また全市民に防犯・防災情報を確実に伝えることができるしくみを確立します。
- ② 市民参加条例、まちづくり条例、市民投票条例、健全財政条例を制定し、市民を主役にするしくみをつくります。
- ③ 維持管理が困難になったシニアの住まいの賃貸・売却をサポートし、市内での住みかえを促進します。
- ④ 沿線他都市や国会、議会と連携し、つくばエクスプレスの東京駅延伸を進めます。
- ⑤ 公共事業などで談合情報を入手した場合、公正取引委員会に市長自ら告発します。

いざき義治の「マニフェスト」はホームページで公開しています。

ホームページ

いざき義治

検索



ツイッター

twitter.com/IZAKIYOSHIHARU

流山改革を進める会

〒270-0105 流山市平方250-138

TEL: 04-7158-1355 FAX: 04-7158-1353

E-Mail info@izaki-yoshiharu.com